

# みらい通信

第二十五号 令和四年九月発行

発行元 社会福祉法人みらい工房広報委員会

発行責任者 平井晋也

住所 千葉市中央区生実町一八二二番地一

電話番号 〇四三（四八八）四六四九



## みらい工房グループホームの

### 現状と今後の目標（課題）

富山秀夫

グループホームは、地域移行を進めるために整備が推進され、それらの支援において重要な役割を担っています。障害者自立支援法のサービスとして位置づけられて以降、十五年以上が経過し、グループホームにおける障害の重度化・高齢化など様々な状況の変化があります。

みらい工房では、五棟のグループホーム（以下ホーム）を運営しています。平成二十三年に辰巳台ホーム（男性六名での入居を開始しました。順次、南生実町ホーム男性十八名、矢作町ホーム、生実町A、Bホームそれぞれ女性六名が暮らすホームとなっています。各ホームの特徴ですが、辰巳台ホームはアパートを借り上げた建物を使用し、それぞれ一室ずつ使用しています。南生実町ホームは、十八名の利用者様が暮らしており、他のグループホームと比較しても大所帯のホームとなっています。

個々の暮らしの中の要望も様々です。時々トラブルはありますが、明るく賑やかな中で暮らしています。矢作町ホーム、生実町A及びBホームは、一軒家をベースとした建物で、アットホームな雰囲気の中、特にご自分のペースを尊重した暮らしとなっています。利用者様の多くが外出の機会を希望されており、週末

を中心に移動支援のサービスを利用しています。地域資源の活用と余暇の一環として充実した時間を過ごしています。移動支援に限らず、職員と気軽に出掛けられる機会もあります。どのホームも徒歩圏内にショッピングセンター、レストラン、専門店等、利用しやすい環境にあり、とても便利な立地なのも特徴で気軽に利用できます。公園や森林等、自然も充実しており、ダイナミックに身体を動かす事もできます。

日常の職員の勤務体系に関しては、世話人をはじめ、ホーム職員、生活介護の職員等、交代制になっています。日々担当職員が変わり、考え方によっては複雑さも感じられますが、その分出会いが多いという点からも、歓迎してくださる利用者様も多いです。職員間の情報共有の難しさといった課題もありますが、利用者様は楽しみに待ってくださっている様です。

今後の課題ですが、個別支援計画に沿ったご支援と中でも医療機関との連携に関する事が挙げられます。高齢の方や医療的な配慮が必要な方も増えています。みらい工房に限らず、高齢化それに伴う障害の重度化も進んでいます。個人差はありますが、生活機能や身体機能の低下、医療的ケアや新たな病気、怪我のリスクが高まっている事も現状です。生活習慣の変化や社会参加の困難さ、介護負担の増加等から多様な生活環境、支援体制についての整備も求められています。みらい工房では、個々の主治医や協力医のバック

アップがある事は安心のひとつになっていますが、特別な疾患をお持ちの方のケアや新たな感染症等に関する体制で不安や課題があります。日常の生活でも予防的なケアをはじめ医療機関との連携、職員が緊急時の対応やどんな事に留意し、ご支援させていただくか、学習の場を持つ事が必要になります。

また近況として、強度行動障害についても着目されています。強度行動障害があっても地域（ホーム）で暮らすという発想です。地域にも重度障害者の方が暮らしている現状で、受け手の負担はどう頑張ってもぬぐえないという状況もあり、強度行動障害のある方の地域での支援を確立する為のフォローアップが必要です。その中でみらい工房は千葉市の中核を担う法人として、特に在宅の強度行動障害のある方とご家族を含めて支援させていただくと共に、利用者様が引き続き安心して暮らしを送っていただける様、体制整備を進めていきたいと思っています。

最後に日々ご支援させていただく中で「利用者様本位」という言葉を聞きます。これまでも「利用者様本位」を念頭においてホーム支援をさせていただいていますが、どんな生活をしたいかは利用者様が決めるべきであり、その生活の評価は利用者様に委ねるべきだと思います。どこでどんな生活を送りたいのか、何を評価しているのかといった現実から、今後も議論が必要になります。そして、みらい工房ホーム職員として、利用者様が「みらい工房の生活が一番」と自信を持って言ってもらえるホームを運営させていただく事を今後も目指します。



（みらい工房 次長）

## 息子とみらい工房…

木原 智栄子

息子の優希は二〇〇〇年生まれでミレニアムベイビーです。十一月で二十二歳になります。

みらい工房さんには中学二年生から放課後デイサービスからお世話になっております。訳あって中途半端な時期からのお願いでしたが親身に対応していただき、とても心強かったのを覚えています。

現在は生実町の受注班で月曜日から金曜日まで毎日仕事を頑張っています。著作業やナフキン折りなど集中して取り組むことが出来ているようです。そしてまちに待った土曜日は日中一時支援活動日です。ピンクの受給者証を連絡帳のケースに入れるのをすっかり忘れていた私を何度もみてたからなのか、金曜日は帰ってくるとピンクの受給者証を連絡帳にしまいます。そしてニコニコ笑顔で「明日はお休みです」と息子は嬉しそうな顔をして何度も口に言ってきます。毎日の作業を息子は頑張ってるからこそ土曜日の日中一時支援活動が楽しみなんだなあと思いました。

ハロウィンパーティーにクリスマス会、テイクアウトで昼食（マクドナルド）を買ってきたりクッキングをしてくれたり、楽しくなる活動をいつも考えていただきありがとうございます。

息子は話を聞いてもらうことが大好きです。「〇〇さんにはカレンダーの話」、「〇〇さんにはテレビの話」など、人によって話題を決めて毎回同じ話をしてるようです。あと、送迎職員の方で「いつも話を聞いて楽しい」と言ってくださる方がいて

その優しい言葉にホッとしました。いつも話を聞いてくださりありがとうございます。

職員の皆さまの声掛け、気配り、時には注意をいただきたき皆さまに支えられて毎日楽しく過ごせる事ができています。

息子はみらい工房さんが大好きです。用事があつて遅刻早退欠席をすることをとても嫌がります。早退するときは時間交渉をします。

母「今日は十四時に迎えにいくね」と言うと息子「十四時半にしてください」と言ってきます。少しでも長くみらい工房さんにいたいようです。

みらい工房さんは息子にとって大切な場所になっていてとても嬉しく思っております。

大好きなみらい工房さんで毎日過ごせる息子は本当に幸せだと思います。また、母親の仕事のため送迎時間のご配慮いただきありがとうございます。

職員の皆さまこれからもどうぞよろしくお願いいたします。



大きなひまわりが咲きました！

当法人評議員の原嶋崇様より

ひまわりの苗をいただきました。

各事業所に配れるほどのたくさんの方苗ありがとうございます。

大きなひまわりが育ちますように、と大切に花壇に植えました。利用者にとつても素敵な思い出になったと思います：★



当法人は千葉県社会福祉法人経営者協議会に加入しており、その中で千葉県社会福祉協議会の仲介によって株式会社スマー トセル様より、大人用マスク二万枚の寄付をいただきました。誠にありがとうございます。大切に使用させていただきます。



### ● 編集後記 ●

今回はみらい工房の木原優希さんのお母様に原稿を頂戴いたしました。日中一時支援活動の日に支援させていただく機会があったので文章を読んで思わず笑顔になりました。お忙しい中、原稿をお引き受け頂きありがとうございます。次号も皆さまに協力してもらいたい色々なお話をお届けできたらと思います。